

# (ただいま考え中！)

第7号 2008年12月

小田急金森泉自治会街づくりを考える会

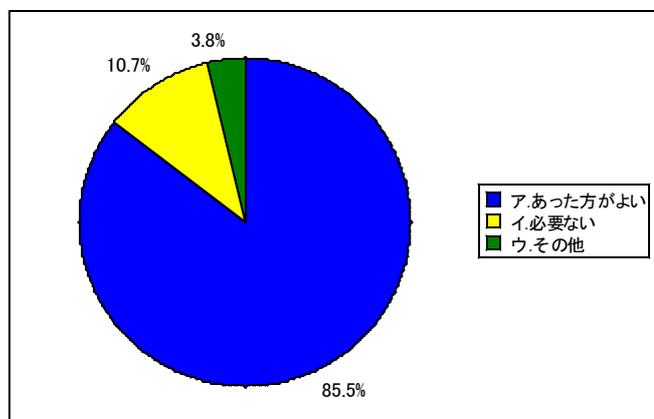
## (アンケートについて)

10月に実施した第2回住民アンケートには多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました。今月はアンケート結果の概要をお知らせします。詳細は次号(特大号)にて！

## (アンケート結果の概要)

**回収率** 今回のアンケートでは回収率 43%と低めの数字になってしまいました。これは家族の年齢などの質問がプライバシーに関わる事柄なので答えたくないと思われた方がいらしたのかもしれませんが、今後、回収方法などの工夫が必要のようです。もし出し忘れがありましたら、次号でお知らせする結果の詳細に反映させますので、提出していただくと助かります。

**建築ルールの必要性** 地区独自のルールが必要か？についてうかがいました。街並みや安全性を維持するためには建築のルールがあった方がよいと答えられた方が約 86%でした。さらに、建築協約を見直して新しいルールづくりを進めて欲しいと答えられた方がこの内の 86%でした。



街づくりを考える会ではこの結果を受けて新しいルールづくりを進めていきます。来年度中には原案を提示できるよう作業を行います。

**今までになかった視点** 今回寄せられた多くのご意見から、新たに検討すべき問題点も浮かび上がりました。

一つは建物等の色です。今のところ地区の中には鮮やかな原色を使った建物は見あたりませんが、市内には建物全体をまっ黄色に塗ったお店もあります。町田市では現在「景観条例」の検討が進められているのでその内容も見ながら検討を重ねていきます。

**これからの予定** 多くの方が地区独自の建築ルールが必要との考えでしたが、一方では必要以上に規制を受けたくないのも地区独自のルールは必要ないと考えている方もいます。より多くの方が納得できるルールづくりが求められています。

反対意見をお持ちの方は、自治会から離れたりして孤立してしまうケースも見られますが、これは得策とは言えません。むしろ積極的に意見を言って、新しいルールに反映させるべきでしょう。仮に私たちの街で「地区計画」が決まった場合、地区内の敷地すべてが対象となります。「暮らしやすい街」「住み続けたい街」を実現するためのルールづくりなので、一人でも多くの方からご意見をいただきたいのです。

街の住みやすさを維持するためには、地域内のコミュニケーションを増やすことも大切です。ソフト面も充実させてもっともっと良い街を目指しましょう。

### （今月の話題）

敷地境界のフェンスは防犯のため、プライバシーを守るために作られます。「中は見られたくない」と思う反面、「見えた方が不審者の発見につながる」との意見もあってなかなか難しい問題です。どのようなフェンスや生垣が防犯に役立つのか取材中です。

フェンスの高さや素材によっては隣の方に圧迫感をあたえたり、防災上好ましくない場合もあります。トラブルを避けるためにもフェンスを新しく作る時などは隣の方ともよく話し合うようにしましょう。

### （くれぐれもご用心）

今年ももう師走になりました。年の瀬は何かと忙しいものですが、防犯、防火に気をつけましょう。振り込め詐欺の事件も各地で続いています。くれぐれもご用心を！

### （次回の定例会の予定） 1月11日（日）10時から

ふれあいもみじ館2F どなたでも気軽に参加ください。

街づくりを考える会へのご意見やお問い合わせは2班 船橋

tel：042(795)9423 / E-mail：adn75950@rio.odn.ne.jp へお願いします。